

科目名	建築概論	英語科目名	Introduction to Architecture
開講年度・学期	平成22年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科・1年
授業形態	講義	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	履修単位(60時間単位)
担当教員	前期:瀧澤雄三 後期:尾立弘史,佐藤篤史	居室(もしくは所属)	建築棟3階 建築棟2階デザインスタジオ内、建築棟3階
電話	0285-20-2830 0285-20-2835 0285-20-2833	E-mail	takizawa@oyama-ct.ac.jp oryu@oyama-ct.ac.jp a-sato@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
瀧澤雄三担当	1. 日本や世界の都市・建築・生活を知る。 2. 建物が建てられない土地や地域があることを知る。 3. 自分の身の回りにもいろいろな建築法規が関係していることを知る。		
尾立弘史担当	建築の幅広さを理解する。		
佐藤篤史担当	地球環境や都市環境・室内環境と建築の関係を知り、それを支える建築設備を理解する。		
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
瀧澤雄三担当	達成目標1はレポートの内容により、2~3は定期試験により評価する。		
尾立弘史担当	建築の種類を多く表現できることで達成度を評価する。		
佐藤篤史担当	レポートにより環境問題を表現できること、試験による基本知識の習得状況で達成度を評価する。		
評価方法			
瀧澤雄三担当	前期の前半はレポートで評価(100%)し、前期の後半は定期試験により評価(100%)する。		
尾立弘史担当	数回のレポートの内容で評価(100%)する。		
佐藤篤史担当	定期試験(60%)、レポート内容(40%)の割合で評価する。		
授業内容			
瀧澤雄三担当	1. ガイダンス 2. 日本の住宅 3. 世界の都市・建築・生活 4. 世界の都市・建築・生活 5. 世界の都市・建築・生活 6. 世界の都市・建築・生活 7. 世界の都市・建築・生活		
【前期中間試験】			
8.	「どこにでも家は建てられるのか?」(課題)		
9.	上記課題に対するディスカッション		
10.	家・まちと法律(1) ハムラビ法、民法		
11.	家・まちと法律(2) 身近な都市計画法		
11.	家・まちと法律(3) 身近な建築基準法①		
11.	家・まちと法律(4) 身近な建築基準法②		
11.	家・まちと法律(5) 身近な建築基準法③		
【前期末試験】			
建築の			
尾立弘史担当	1. ガイダンス 2. 古今東西の建築100選 3. 現代建築1950年以降の世界の定番建築 4. 建築家無しの建築、遺跡 5. 4大文明 エジプト、中国 6. メソポタミア、インダス 7. 沸騰都市(ドバイ、ロンドン)		
【後期中間試験】			
佐藤篤史担当	1. 中間試験の答案返却・解説、 2. 気候風土と建築の形態 3. 環境問題と建築(1)地球環境問題・都市環境問題と建築技術 4. 環境問題と建築(2)快適で健康な室内環境を造る。 5. 建築の色彩・照明 6. 建築設備の技術		
【学年末試験】			
7.	定期試験の答案返却・解説、		
キーワード	世界の都市・建築・生活、日本の家・まち、法律、		
教科書	特になし。必要に応じプリントを配布。		
参考書			
小山高専の教育方針①~⑥との対応	③		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
JABEE 基準1の(1)との関係			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目			
現学年の関連科目			
次年度以降の関連科目			
建築を学ぶ全ての科目に関連する。			
連絡事項			
3名の担当教員で授業を行うため担当教員によって授業方法や採点方法が異なる。建築に関連する知識を深めるため日頃から周囲の風景や建築物に気を配るように心懸ける。			
シラバス作成年月日	平成22年2月22日		